

防府名勝

名勝がき帖

幾度朴堂氏選

防府名



金波帖目次

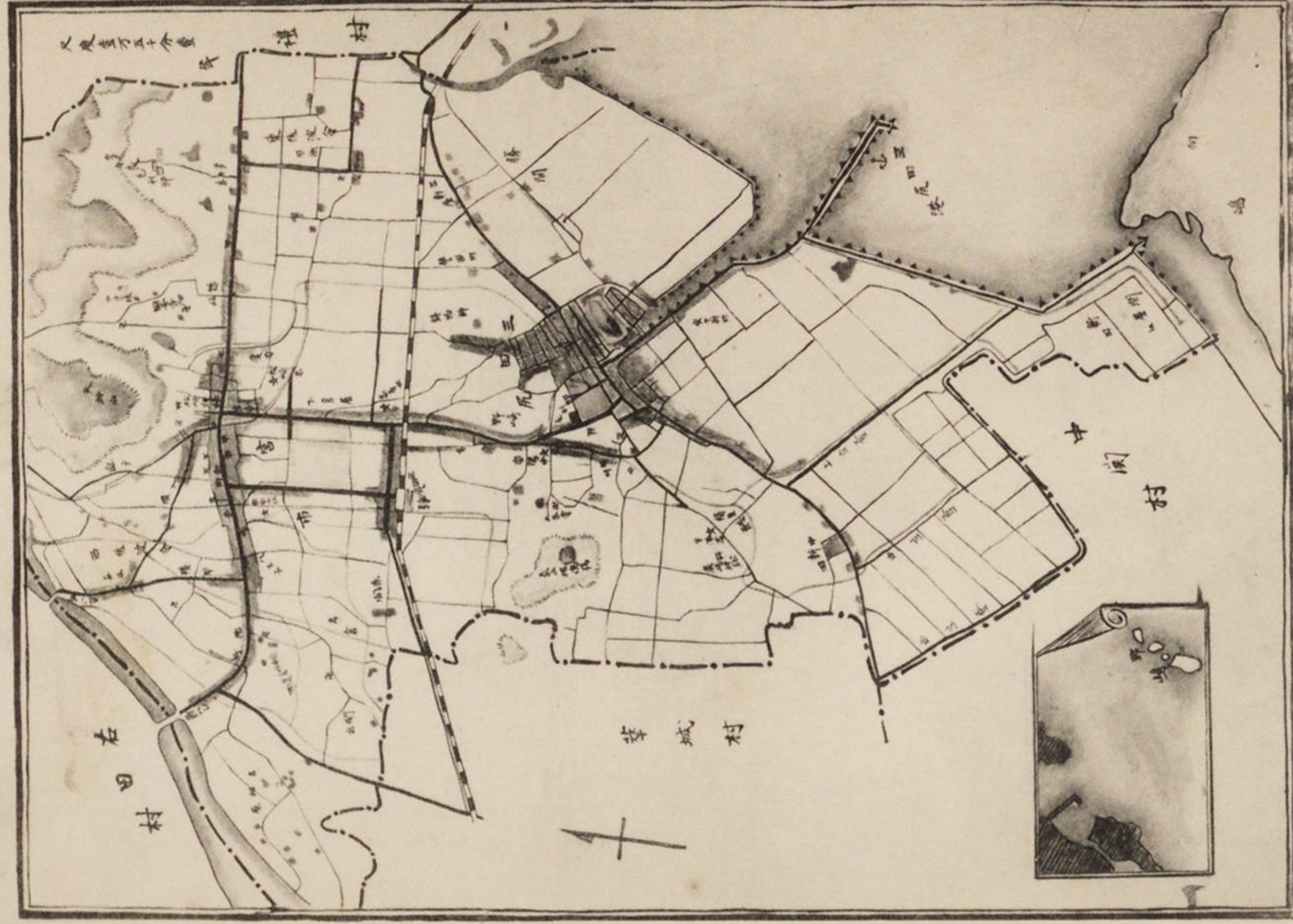
- 一、驛路 鈴(防府地圖)
- 二、松崎神社(天満宮)
- 三、天満宮樓門
- 四、天満宮神苑
- 五、新橋ヨリ右田ヶ嶽ヲ望ム
- 六、濱 殿(天満宮御旅所)
- 七、玉祖神社
- 八、國分寺
- 九、多々良城
- 十、鞠生松原
- 十一、三田尻港
- 十二、三田尻專賣支局と同試験場

驛路鈴

山口縣周防國佐波郡ノ南部ニ位ス、廣袤東西一里十町餘、南北一里卅町餘、面積一方里三九(野島ヲ除ク)。東ニ太平山(八伏山、枳部山)屏ヲ爲シ、東北ニ矢筈岳峙チ、多々良山北ニ連リテ、天神山(酒滴山)ト接シ、右田岳(城山)、西目山又其ノ北ニ聳ユ。佐波川、東北ヲ繞リテ、西ニ流ル。佐野、女山、田島ノ諸山ハ、西ニ起伏シ、向島(錦山)ハ、江泊(草崎山)ト相對シテ、南ヲ守護ス。華浦灣、此ノ中ニ紆リテ、勝間(羯磨)ヨリ中關ニ至ル、即チ三田尻港ナリ。宮市ハ天神山ノ麓ニ展開シ、阡陌縱橫ノ裏、港ト一線ノ街路ニ由リテ密ニ連續ヲ保ツ。桑山、其中間ニ在リ。山北ノ一面、生氣ヲ以テ滿タサレタルヲ、三田尻驛ト爲ス。

▲戸數四、五〇五戸▲人口二四、一五一一人▲農業戸數△專八〇九△兼三九〇▲漁業戸數△專五四△兼四四二▲商業戸數△專一四二五△兼五八二▲工業戸數△專七二五兼一九六▲耕地反別△田八〇三町歩△畑七四〇町歩▲主要物産△米一七、三四九石△麥五、九八一石△水産物五五〇〇圓△清酒三、七三〇石△醬油三、六八〇石△鹽温器九五、〇〇〇圓△經木賣田一二、六〇〇圓
(四十三年度十二月末町役場調査)
▲旅人宿六五△井原、石田、國本、山寅、ホテル等(以上驛通)▲熊萬(下岡村)▲吉原(廣小路)▲伊藤、山内(以上堀口)▲山德(築堤)▲松川屋、深野、中本、末富等(以上宮市)▲飲食店二四七▲料理屋三〇▲北熊佐、木村辨當屋等(以上驛通)▲杉浦(廣小路)▲熊佐(堀口)▲五雲閣、共遊樓、山龜等(以上宮市)
(▲印四十三年末三田尻警察署管内調査)

防府町地面



MAP OF "HOFU-CHO" (圖地町府防) 鈴路驛 (勝名府防)

The right page of the document contains several columns of vertical Japanese text. The text is densely packed and appears to be a historical or administrative record related to the map on the left. The characters are small and difficult to read due to the image quality and the angle of the page. The text is organized into approximately four columns, with some larger characters or symbols interspersed throughout the columns.

きかは便郵



UNION POSTALE UNIVERSELLE
CARTE POSTALE

153

松崎神社

(三田尻ヲ距ル約北八丁)

周南第一ノ名勝、酒滴山腹ニ鎮座ス。謂ハユ
ル三大天満宮ノ一ナリ、廟貌丹青古ク、威名
歲月深キモノ、誰カ仰瞻致誠セザラン。松陰
梅外三千戸、人烟稠密ノ衢ヲ宮市ト云フ、遺
澤ノ存スル所、殆ド思議ス可カラズ。現下縣
社ニ列セラレ、明祀常典ニ遵フ。眞ニ箇レ中
國希有ノ靈蹟ト謂フ可シ。

明治四十四年十月十日

好風庵主人謹識

松平樂翁

天満る神のめぐみも咲梅の

かほりも代々にたゞまさりつゝ

菅相之藪距今享和壬戌實九百年恭賦格詩一篇
以寓懷之意

佐藤一齋

維嶽鍾靈秀。器儀見夙成。翰林珥史筆。遭遇感上皇。
公本非鼎族。一朝冠廟廊。後主獎護口。青蠅遂營々。
獨木支大厦。至竟豈不傾。貶地嶮海遠。浮雲翳日光。
筆硯唯自遣。通塞任行藏。出處耦陸贄。詞藻標長卿。
松幹風霜古。梅花雪後古。生前非無恨。身後尙有榮。
追贈從褒典。偉績紀太常。廟倉傳綿亘。春秋祭城隍。
人間年代改。九百閱星霜。威靈猶赫々。奠薦仰神明。
(以上真蹟在松崎神社寶物箱)



UNION POSTALE UNIVERSELLE
CARTE POSTALE

153

きかは便郵

松崎神社樓門

松崎神社現在ノ社殿、廻廊、樓門ハ、毛利重就卿(英雲院殿)、良匠ニ命ジ、改メテ造營セラレシモノニシテ、寛政元年春三月ノ落成ニ係ル。太宰府、北野ト鼎立シテ、千古開誠ノ宗社タリ。

本社古傳ノ繪卷物(奥書ニ應長元年ト記シアリ、即チ今ヲ距ル少ナクモ六百餘年前ノ作ナリ)ニ曰ク「さるほごに(菅原の大臣)防州勝間の浦に著かせ給ひける(中畧)此地いまだ帝土をばなれず願はくは居を此所にしめむと御ちひありけるにや(大臣薨後)光明海上に現じ瑞雲酒垂山の峰に登りて奇異の瑞相化現しければ時の國司を始めて渴仰の心肝に銘じ隨喜の思ひ感を催して海濱に臨みて之を拜見しあへり其時國司寶殿を建立し玉扉をひらきしより之を松が崎の社と號せり」ト。又土師家傳ニ曰ク「墓逝明年、信貞伺國務之餘暇、切管祠造構之志、奏之朝廷、請勅願旨」ト。是ノ傳ニ據レバ、本社ハ、延喜四年即チ今ヲ距ル一千八年前ニ創建セラレタルナリ(北野神社ハ大臣薨後四十四年天曆元年ノ草創ニ係ル)。

社頭梅 加茂季鷹

神かきにいふりもよほす祝す子も
おごろくはかりかなる梅の香

村瀬栲亭

誠感震天地。千秋望倍新。文章爭日月。草木致精神。
祠通諸侯土。芳流異域人。仰瞻松柏裏。殿閣一嶙峋。
(以上眞蹟在松崎神社寶物館)



GATE TO "TENMANGU"

門樓社神崎松 (勝名府防)

Faint, illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page.



UNION POSTALE UNIVERSELLE
CARTE POSTALE

153

きかは便郵

松崎神社神苑

老梅アリ古松アリ、石瘦セラ苔生シ、泉飛ヒテ韻幽ナリ、鶴コ、ニ遊ビ龜コ、ニ遊ブ、清光春ニ宜シク、佳景夏ニ宜シク、瀨氣秋ニ宜シク、晴色冬ニ宜シ、廟前廟後、之ク所トシテ苑ナラザルナク、觀ルモノトシテ美ナラザルナシ。

閑院宮

松か枝のたをれる枝をせくらにて

すたてらるへき鶴の雛かな

香川景樹

この宮の愛のさかりこ二月の

けふこそ梅は咲匂ひけれ

加藤千陸

國もせに薫りみつらむ祝子か

いはふみむろの神の梅か枝

伴蒿蹊

おほけなけれさ神號はた神詠の御辭をさりて

よめる

武元登々庵

時來れば神のまにく久方の

あめにもみつる風の梅の香

一朶梅纒發。晴雪春不迷。淡粧和雪色。清影鑑澄溪。

二月梅風吹雪新。祠頭封植度千春。蒼松翠竹無顔色。惟昔飛來慕主人。

皆川琪園

矢野括山

玉砌春光暖不遲。梅花日照影參差。東風似解神遺愛。復送清香自在吹。
(以上眞蹟在松崎神社寶物箱)



PARK OF "TENMANGU"

苑神社神崎松 (勝名府防)

Faint, illegible handwritten text in Japanese, likely bleed-through from the reverse side of the page.



UNION POSTALE UNIVERSELLE
CARTE POSTALE

153

きかは便郵

佐波川

右田岳

(三田尻驛ヲ距ル北約廿丁)

(新橋ヲ距ル北約十八丁)

佐波川、古名娑婆川、又鮭川ト云フ、錦川、錦江、錦水、三巴ハ其ノ雅稱ナリ。前太平記ニ曰ク、天曆三年四月、伊豫椽藤原純友謀反、來リテ府中ヲ攻メ、更ニ樋田、淺倉ニ城ヲ攻メント欲ス、淺倉城主秦周防介、出デ、右田ニ防グ、大川アリ、廣サ五丁、峻流石ヲ轉ズ、賊兵筏ヲ編ミテ、之レヲ渡ラントス、中流溺没スルモノ五百餘人ト。所謂大川ハ、佐波川ナリ。當時全流氾濫ノ狀、想見ス可シ。今、川西二三丁ノ地ニ、高低界ヲ成スアリ、古河筋ト名ク、蓋シ中古ノ河岸ナリ(天野氏譜録)。新橋ハ、舟橋ノ西、下流ニ方レル街道ニ架シタル一大橋ニシテ、右田嶽ノ翠影ヲ翫ブニ、最モ適當ノ所ナリ。

鬱タル右田峻嶽ノ精粹、嘗テ一タビ人間ニ發シテ、山縣周南ト作リ、瀧鶴臺ト作リ、雄ヲ天下ニ稱シタリシハ、讀書子ノ毎ニ欽仰措カザル所ナリ。嶽ヤ今尙秀デタリ、神復タ降ラザルカ。何物ノ老子ゾ、獨リ二橋亭畔ニ立チテ、惆悵良々之レヲ久シウスル。

橋南

日出橋南茶店前。上流夜雨始晴天。峽雲世地高千尺。只露亂峰三四巔。

橋上

瓊堤取道涉汗邪。漲後平原未懸沙。獨木橋橫半溪水。野梅花底有人家。

(紅葉山房詩鈔)



"MIGITAGADAKE" AND "SABAKAWA" ム望ヲ嶽ヶ田右リヨ橋新 (勝名府防)

吉田町
防府
新橋
嶽ヶ田
望
防名勝



UNION POSTALE UNIVERSELLE
CARTE POSTALE

153

きかば便郵

濱 殿

(松崎神社チ距ル南約二十丁)

菅公夜泊ノ迹ナリ、因ミテ天満宮神遊ノ御旅所トス。毎年十一月望夜、神輿渡御ノ勝事アリ、數萬ノ壯丁(謂ハユル裸坊)之レヲ警衛ス海内屈指ノ大祭ト稱セラル。此ノ地方、古ノ勝間浦ニシテ、又都濱ト云フ。東ノカタ里道ニ傍ウテ勝間宮ノ社址アリ、此ノ宮ハ式内ノ古社ナリシヲ、神社合併ノ弊ヲ受ケテ、可惜廢滅ニ歸シ、纔ニ斧斤ヲ免レタル二三株ノ老松ニ、游子懷古ノ情ヲ寄スルノミ。又北數丁ノ外ニ、國廳ノ遺跡アリ、今猶所在地ヲ國衙ト字シ、史蹟歴然タリ

周防なる勝間の驛さいふ所にて子日し侍りしに

清原元輔

おもひ出よ千代の子の日のけふ毎に

勝間の浦のきしの姫松 (家集)

清原元輔朝臣の子の日せられつる勝間宮の松の
枝を軸にして筆つくらせける時によめる

鈴木高頼

子日せしかつまの宮の姫小松

こそるも筆の林こそなる

(勝間廻若葉)



HAMADONO OF TENMANGU

(勝名府防) 濱殿 (大納宮御旅所)

Faint, mostly illegible handwritten text in Japanese, likely a field diary or travel notes, with some visible characters such as '防名' and '濱殿'.

Large blue stylized characters, possibly '防名' (Funa), printed vertically on the dark background of the book cover.



UNION POSTALE UNIVERSELLE
CARTE POSTALE

153

きかいは便郵

玉祖神社

(三田尻驛チ距ル北西約一里十五丁)

右田村大崎ニ在リ、國幣小社、周防一宮トシテ崇敬セラル。祭神ハ玉祖命、即チ是レ天孫日向國ニ降リタマヒシ時隨從ノ神ナリ。三種ノ神器ノ一ナル八尺瓊勾玉ヲ作リタマヒシヨリ、神德萬世ニ傳ハレリ。景行天皇、神功皇后、前後西征ノ際、輦ヲ駐メテ、親祭ノ御事アリシト云フ。

大崎の濱島田と言ふかたはうちけぶりたるやうにて曙の空のごかにて浪のおさも聞はぬほごなり
り芦邊の鶴の明けぬと鳴く聲のごかなり
今川 貞世

大崎の浦吹く風の朝なきに
田島をわたるたつのもる聲

(道行ぶり)

尾 古 重 伴

玉祖のこれの御神は天照す日の大神の岩屋戸にこもらし
まして世の中の常夜ゆく時眞寶木に掛けて祈りし勾玉を
作りし神をそのの勾玉こそは高御座受繼ませる日の
御子の天つじるとの御寶と傳はり來ぬれ神はしもさばに
ませさも御寶をつくりつかへていさある神は此神玉さ
いふ玉はおほけと御しるしとつたはる玉は八尺瓊のそれ
の勾玉その玉をいただきますこの神の御たまいつきて
玉の祖の神のやじるとたへけらしき
(眞蹟在玉祖神社々務所)



"TAMANOYA-JINSHA" AT MIGITA.

(田右)社神祖玉 (勝名府防)

Faint, illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page.



UNION POSTALE UNIVERSELLE
CARTE POSTALE

1F3

きかは使郵

國分寺

之ノ寺ハ、聖武天皇ノ勅願所ナリ。行基菩薩ノ大根機ヲ以テ、日本全州ニ賦課シ、一州一箇、特立創建セラレシ金光明四天王護國寺ノ一タリ、爾來一千二百年間、屢々祝融ノ虐スル所ト爲リシモ、佛天、祐アリ、王法之ヲ持シ、妙ニ桑滄ノ變ヲ免レ、今尙儼然舊時ノ莊嚴ヲ保チ、眞言宗古儀派別格本山淨瑠璃山國分寺タル規模ヲ存セリ、境内ニ水鑑井ト稱スル古井アリ、菅公寫影ノ故事ヲ以テ、其名著ハル。

金堂 天平九年三月創建、災後、應永二十八年大内持世卿再建、保存シテ今ニ至ル
仁王門 文祿五年三月毛利輝元卿再建
聖天堂 元祿十五年毛利吉廣卿再建

寺寶中ニ、行基菩薩作大黒天木像、智證大師作大黒天木像、聖武天皇勅筆心經、光明后宮御筆日輪當午經囑累品其ノ他數十種アリ。

國分寺懷古 穗積重胤

かけまくもあやにかしこき青丹よしならの都に天下し
ろしめしける天皇の神尊明らけき大御心を國土にてら
したまひて四方國公民を撫賜ひ惠賜ふご御心のめての
盛に都には大寺をたて國にはもつてなをたて、御佛を
齋き坐けれ天下國は多げご周防なる國の御寺は古に易
る事なく榮々來て御世をさきはに祈み奉り國を平に願
奉り法の燈世とさきに盡ることなくむくさかに傳はり
きぬれこの寺の昔の隨意うつろはす傳はるみかは安見
し、わか大君の大御代は彌とこしへにひかり坐しさか
ねむしるし仰ぐにも餘りありけることじあるかも
(眞蹟在國分寺)



"KOKUBUNJI AT SUO"

寺分國 (勝名府防)

Faint, illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

きかは便郵



UNION POSTALE UNIVERSELLE
CARTE POSTALE

178

三田尻驛ヲ距ル東約廿丁

多々良城

(三田尻驛ヲ距ル東約廿丁)

舊防長二州ノ藩主毛利公爵家ノ本邸トシテ新ニ造築シツ、アル所ノ城廓ナリ。此ノ所ハ、昔(推古天皇御代)百濟聖明王ノ子、琳聖ノ投化セシ最初ノ地ニシテ、多々良氏發祥ノ迹ナリト傳フ。山水清暉ヲ含ミ、風光能ク人ヲシテ娛マシム。溪流ヲ那木ノ水ト稱シ、古來清冽ノ名アリ。今茲十一月ノ吉、大元帥陛下、西ノカタ肥筑ノ野ニ幸シ、陸軍大演習ヲ行ハセラル、御往還ノ途次、鳳輦ヲ此所ニ駐メサセラレ、一夜重テテ、名ニシ負フ都濱邊ノ月ヲ眺メタマフトゾ承ハル。二州ノ山河草木、光ヲ邀ヘ榮ニ向フノ狀、最モ著シ。多々良ノ名蹟再ビ世ニ發シテ、新城ノ基、牢トシテ復タ拔ク可カラズ、盛矣哉。

舊臣某より元就卿のみかたうつせる書を得させたるよるこひに

毛利元徳

おほみかさまたすけましつる御心をうけつきゆかん萬代までに

松下泉

たえず來て人はくめさも松かけのしみつは夏に知られざりけり

(芳宜園集)



"PRINCE MORI'S RESIDENCE TATARA" (邸利毛爵公) 城良々多 (勝名府防)

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]



UNION POSTALE UNIVERSELLE
CARTE POSTALE

153

きかば便郵

行發地 松原市 中宮 松原

鞠生松原

(三日尻驛ヲ距ル南約十五丁)

桑山ノ南、新田ノ北、囂塵纔ニ絶エテ、籬煙未ダ起ラザル處、白砂光ヲ磨シ、一帶ノ青松透迤トシテ相映ジ、神祠衛門、嚴ニ名區ノ清潔ヲ護持ス。萬葉集ニ「伊毛我伊敵治知可久安里世婆見禮杼安可奴麻里布能宇良乎見世麻思毛能乎」等アルハ、當ニ本洲玖珂郡ノ勝地ヲ詠ゼシモノナルベキモ、此所ノ風景亦古ヨリ世ニ著聞セリ。

この國の國府のみなみ高はまさいふ浦ばたの三田尻さ
いふ松原に御族所を立てたり此松原はいそのかみ嚴島
の明神爰に天降りまして今の嚴島には移らせ給ひけれ
ばけにぞ神さびたるや白がねをしげるやうなるいさな
東西の洲崎の中を入江のやうに二すぢばかり汐さしい
りて浦松のいたく木高からで枝さしおいかゞまりて木
だちつくるへるやうなるむら／＼おひてその中にちい
さき社のふりたるぞおはします

今川 貞世

松原や高洲のこすゑ越ゆるまで

月の出しほの更けにける哉

(鹿園院殿嚴島詣記)



MARIFU-MATSUBARA

原松生鞠 (勝名府防)

Faint, illegible handwritten text in Japanese, likely bleed-through from the reverse side of the page.

きかは便郵



UNION POSTALE UNIVERSELLE
CARTE POSTALE

153

三田尻港

(三田尻驛ヲ距ル南約廿丁)

瀬戸内海ニ臨メル著名ノ商港ナリ。外界ヲ鼓灘ト云ヒ、内灣ヲ華浦ト云フ。舊長州侯御船手ノ住スル所ナレバ、三百年來殷賑ノ都會ヲ成セリ。維新前、更メテ海軍局ヲ置キ、長藩ノ勢力ヲ張リタレバ、其ノ名海内ニ藉甚ス。明治聖代ニ及ビ、山陽鐵道開通以來、過客頓ニ減ジ、復タ昔日繁華ノ狀ナシト雖モ、尙大阪商船會社、尼崎汽船會社等ノ船舶、日夕往來シ、貨物ノ運輸出入盛ンニシテ、依然中國ノ要津タルヲ失ハズ。福聚町(開地)ニ遊廓アリ北福聚町(局ノ内)ニ米取引所アリ、蘆洲松林其間ニ介在シテ、欸乃ノ聲ハ、時ニ天籟ト和シ、俗耳ヲ清マシムルコトナシトセズ、嗟吁誰カ詩的華浦ノ發展ヲ祝スルモノゾ。

會蝦夷於婆娑水門合戰射蝦夷等云々乃立可執

末而歌曰

吉備尾代

彌致衛阿賦耶 鳴之慮能古 阿每衛舉會 枳舉曳孺阿

羅每 矩衛衛播 枳舉曳底那

(日本書紀)

華浦竹枝

南部伯民

中關美酒石凍春。紅粉當壺醉幾人。莫向垂楊深處去。

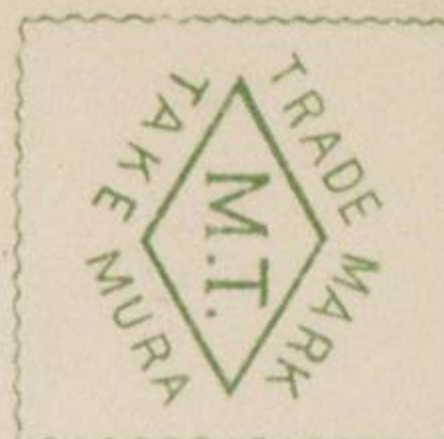
(龍門集)

東風婉轉欲擾神。

菅 茶山

芳芷香芹澗路迷。篋曾柑酒此相携。櫻花不改杯中影。人在春江千里西。

(真蹟三田尻南部直之氏藏)



UNION POSTALE UNIVERSELLE
CARTE POSTALE

153

きかは便郵

三田尻専賣支局
専賣局三田尻試驗場

(三田尻驛ヲ距ル南一里十丁)

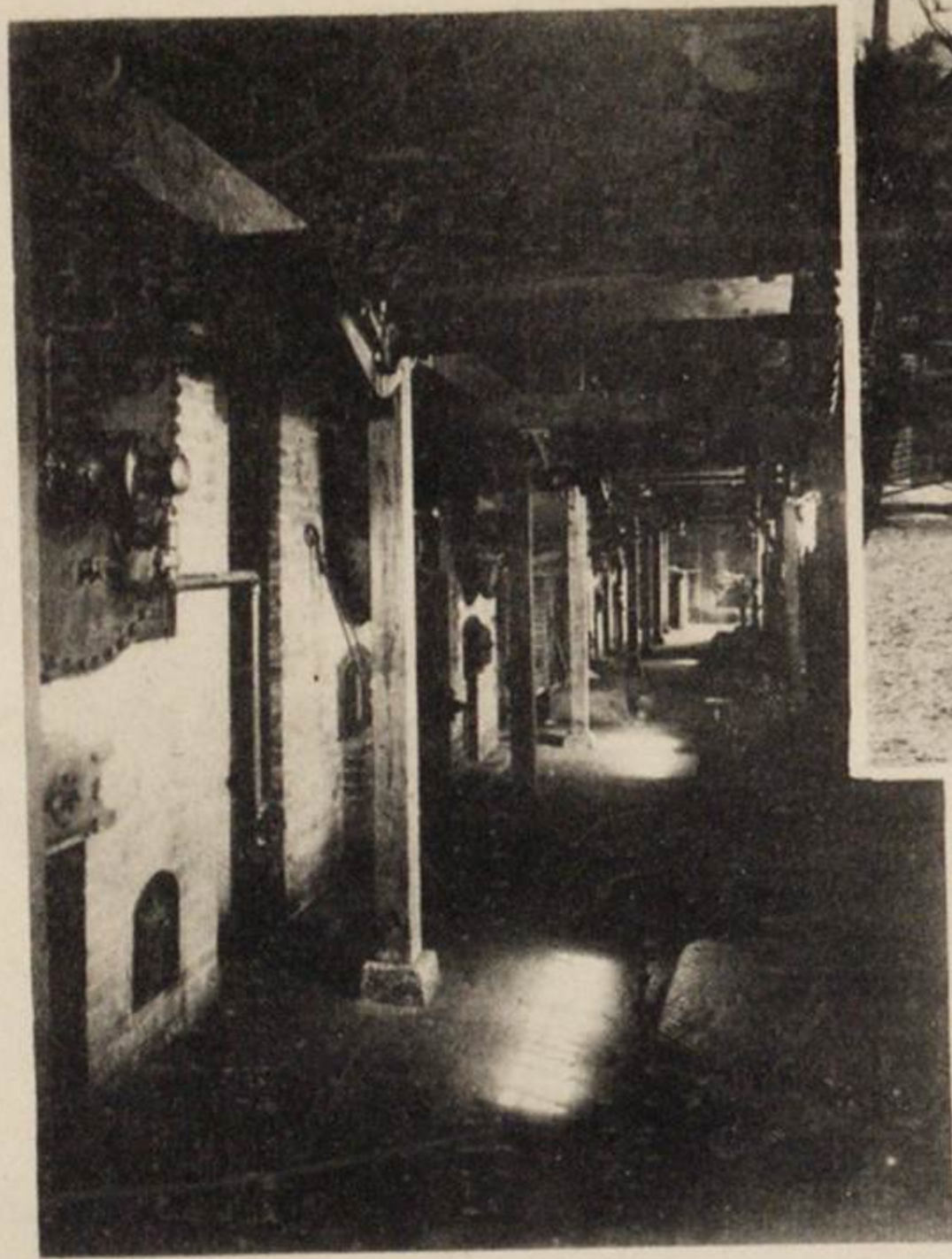
三田尻専賣支局ハ、明治三十八年六月、初メ
三田尻鹽務局トシテ開カレ、同四十年九月專
賣局三田尻收納所ト改メラレ、同四十二年四
月、今ノ名ニ更メラル。

生産鹽(防長二州)四十三年度一億四千七百萬斤此價格三
百六十五萬圓(内中關村、牟禮村四千七百萬斤此價格
百十六萬五千六百萬圓)
全等級歩合 五等鹽九分五厘 四等鹽二厘 三等鹽三厘
鹽田反別(防長二州) 一千町歩内中關村、牟禮村二百九
十七町歩(内中關村二百六十五町歩)
製鹽戸數 百五十七戸(支局直轄)内中關村百四十戸
販路 露濱沿海州(漁業用)青森 秋田 新潟 石川 島
根 及九州全部 但し豊前豊後を除く(漬物、味噌、
醬油及繩菜用)

三田尻試驗場ハ、明治四十二年八月創立。同
年十一月起工、四十三年三月竣工、改良「カ
ナワ」式製鹽法ニ就キ、二回試運轉的試驗了
四十二年十一月補修工事起工、本年二月全部
竣工。二回試驗了。現ニ第五次試驗中。十月
十五日ヲトシ、開場式舉行セラル。

一ヶ年採鹹量 (四十三年度容積平均量母氏一六度四)
約二萬五千石
持濱一日當採鹹量(四十三年度容積)約二百二十三石
一ヶ年生産鹽量 約百三十五萬斤

正垣適處
鹵田千頃碧無涯。瓦屋粉牆幾簇家。預識明朝晴可卜。
嗟煙一帶映殘霞
(眞蹟中關山根莊太氏藏)



MITAJIRI-SENBAISHIKIOKU AND SHIKENJO.

場驗試卜局支賣專尻田三 (勝名府防)

Faint, illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page.



UNION POSTALE UNIVERSELLE
CARTE POSTALE

153

きかは便郵

正體字新行年印所

幾度朴堂氏選

防府名勝

銀波帖

目次

- 一 三田尻驛
- 二 松崎神社全景(天満宮)
- 三 天満宮春風樓
- 四 木鐘庵
- 五 酒滴岩
- 六 船橋
- 七 高井ノ古墳
- 八 阿彌陀寺
- 九 招賢閣(毛利公爵邸)
- 十 桑山
- 十一 三田尻埠頭
- 十二 壙田

明治四十四年十一月二日印刷全年十一月五日發行

著作兼 竹村豊太郎
發行者 山口縣佐波郡防府町
大字宮市三百六十九番地

印刷者 栗田富雄
大阪市東區大手通
二丁目一六三番邸

印刷所 栗田製版印刷所
大阪市東區大手通二丁目
一六三番邸電東二二八九

著作
所有

發行所

竹村商店

山口縣佐波郡防府町
大字宮市三百六十九番地
電話 一三三番



きかば便郵



繪葉書

山口県

84

明木図書館

御駐輦紀

